

ミリ単位設定アドイン説明(手抜き?)

1: アドイン登録後



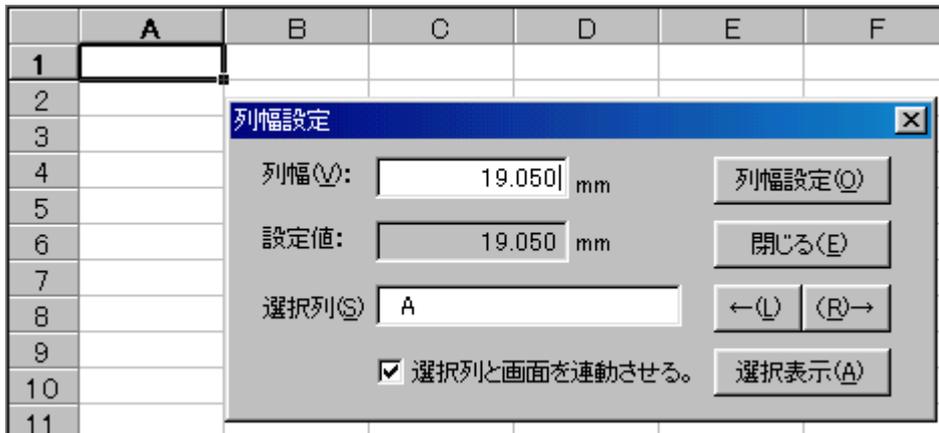
このようなツールバーが Excel に追加されます。
アドイン登録を解除すると削除されます

1) ツールバーのボタンの説明

- 左側 列幅設定 - 列幅設定フォームを起動します。
- 右側 行高設定 - 行高設定フォームを起動します。

2: 各フォームの説明

1) 列幅設定フォーム



: 列幅入力ボックス (Alt+V)

指定する列幅をミリ単位で入力します。

起動時にはアクティブセル (列) の列幅が表示されています。

入力できる値は0~541 ミリの間の値です。541 ミリ以上の値が入力されている場合は
列幅設定ボタンを押したときに訂正を求められます。

: 設定値表示ボックス

入力値を丸めた値を表示します。

Pt 単位へ変換後丸め処理を行い mm 単位へ変換しています。

: 選択列入力ボックス

列幅を指定する列のインデックスを入力します。

起動時にはアクティブセル (列) のインデックスが表示されています。

ここに複数の列のインデックスを入力しておくとも列幅で入力されている値がそれら全てに
反映されます。

入力例

「A:C」 A 列から C 列が設定対象になります。

「A;C;F」 A 列、C 列、F 列が設定対象になります。

「A:C;G;I」 A 列から C 列、G 列、I 列が設定対象になります。

入力してある列を選択状態にするには の選択表示ボタンを押してください。

の続き
このような感じになります。



列インデックス入力後
「選択表示」を押せば
このようになります。



実際は選択状態にしなくても列幅の設定は可能です
単にこのほうが視認性がよいかなというだけです。(^^;

: 画面連動のチェックボックス
後の で説明します。

: 列幅設定ボタン (Alt+O)
入力されている内容 (「列幅」「選択列」) で列幅を設定します。

: 閉じるボタン (Alt+E)
このフォームを閉じます。

: 左右移動ボタン (Alt+L・Alt+R)
選択列を左右に1つずつ移動します。
このとき のチェックが入っていればシートの選択列が移動します。

: 選択表示ボタン (Alt+A)
で説明したとおりです。

行高設定フォームの内容も若干異なりますが基本的には列幅設定フォームと同じです。

以上手抜き説明でした。 <(_ _)>